

糸が製品になるまでに、ものさしはこう変わる

工程が変わると、測る対象も変わる



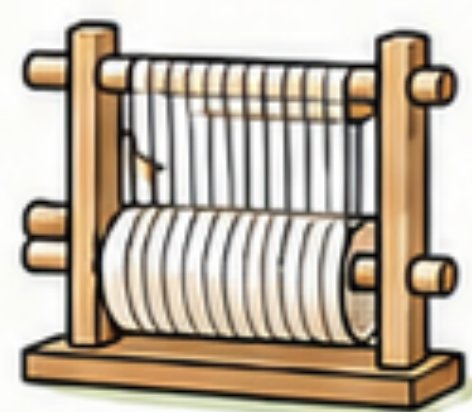
① 原料・糸

見るもの

- 原料や糸の重さ
- 糸の太さ
- 巻かれている量

使われる単位の例

g / k g / ポンド / 番手 /
デニール / テックス



② 糸準備・整経

見るもの

- 必要な経糸（たていと）の本数
- 糸の長さ
- 作業量

使われる単位の例

m / 本 / 総（かせ） /
丁（ちょう） / 玉（たま）



③ 製織

見るもの

- 生地幅
- 経糸 / 緯糸の本数
- 密度 / 打ち込み
- 箴（おさ）の細かさ

使われる単位の例

cm / inch /
鯨寸（くじらすん） /
曲寸（かねすん） / 羽（は）



④ 染色・整理加工

見るもの

- 加工する生地の長さ
- 加工する生地の重さ
- 仕上がり幅
- 面積当たりの重さ

使われる単位の例

m / k g / cm / g / m² / g / m



⑤ 生地取引

見るもの

- 販売する長さ
- 一巻きのまとまり
- 価格計算の基準

使われる単位の例

m / k g / 反（たん） / 疋（ひき） /
ロール / m単価 / k g単価 / 反単価



⑥ 縫製・製品

見るもの

- 製品寸法
- 裁断枚数
- 完成品の数量

使われる単位の例

cm / mm / サイズ / 枚



ポイント

単位が多いのは、バラバラだからではありません。
工程ごとに“測りたいもの”が変わるからです。

#ITomap